

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテ ゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		○	○	○																			
人権 労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・雇用、昇進、登用、福利厚生などのあらゆる雇用条件で、差別がない体制を構築し定期的な個別面談を実施している。 ・栃木県の「とちぎ女性活躍応援団」に登録している（H29年11月7日）。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・就業規則にハラスメントの禁止を明記し、社員に共有し相談窓口を設置している。 ・管理職を対象とした研修も実施している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・管理職を含めた全社員を対象とした労働時間申告書を運用しており、長時間労働は正に努めるとともに休日の消化日数管理を行っている。 ・栃木県の「いい仕事いい家庭つづきとちぎ宣言」に登録（R2年1月1日）。							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・現状で外国人労働者はいない。					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・協力会社に対し毎月安全衛生協議会を開催し安全衛生意識の高揚に努めている。					3			8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・福利厚生の一環として、メンタルケアカウンセリングを外部に委託し、社員に公開、無料で匿名で利用できる。			3														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・高齢者人材の活用のため、健康で有能な65才以上の人材の雇用継続を実施。 ・女性活躍を支援するため、育児休業規定第13条にて小学校就学時に達するまでの時短勤務の延長が可能である。				5.1 5.5		8.5	10.2 10.3										
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・都道府県協会けん保における健康診断を実施、希望者には健康指導を行っている。		3				8											
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・建設業に必要な資格取得促進のため、受験者への支援（社外講習等）や資格取得放送規定で取得した資格に応じた報奨金を支給している。 ・資格取得者には資格手当（毎月の給与加算）が支給される。			4			8 9											
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・社員は全て正規社員として60才定年まで雇用し、功績、能力に応じた資格等級別の同一賃金を支給している。					8.5	10.2 10.3											
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・マニュフェストの電子化率は100%となり、廃棄物の種類と量の把握と管理を行っている。現状での取り組みは廃棄物の整理による容積量の削減を進めている。									11.6 12.3 12.4 12.5	12.3 14.1							
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・自社のエネルギー使用量（ガソリン、電力）を把握している。 ハイブリッド車の使用を推奨している。					7.3						13						
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・【予定】温室効果ガス排出量の管理の仕組みの導入を検討していく。					7.2 7.3						12.4 13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・労働安全衛生法57条の3に基づき、使用する化学物質のリスクアセスメントを行い、適切なリスク低減策を実施している。			3.9		6.3				11.6 12.4								

#### とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		○		○			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
30 製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・地域の栃木県産材を積極的に使用することで、地域の山林の適正な維持管理と山林の健全化につなげていく。						6						12	13	14	15		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・地域の栃木県産材を使用した家づくりをすすめることができ、健全な山林育成につながり、豪雨時の土砂流出の抑制を図り、河川流域の被害防止につながっていく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32 社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・グループ企業とともに地域の林業の6次産業化を目指すことで地産地消があり、地域山林の健全化と林業の成長産業化につながり、林業をはじめとした地域雇用の創出が地方創生につながっていく。					4				9	11	12	14	15	17			
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・グループの製材会社と合同で、佐野地域で小学校や地域の子供会とともに定期的に木育活動を行っている（2019年度：338人参加）。 ・栃木県の「とちぎの元気な子どもも育て隊」宣言に参加（R1年9月10日）。					4					11		14	15	17			
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・渡良瀬川流域の栃木県産材を地域の企業が伐採し、地域の製材所で製材し地域の家づくりに使用することで地産地消と林業の6次産業化につながっている。								8	9	11	12	13					
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に十分浸透している		○		基本	・コンプライアンスの遵守管理担当部署が、定期的な現場の監査と部門の診断を行い、社内でつねにコンプライアンスが維持されることに努めている。														16			
36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・理念である「渡良瀬川流域構想」のもと、「地域環境貢献企業としてSDGsの達成につなげていく」ことを目指し2019年度から事業活動を推進している。そのためのKPIを定め、年1回実績をHP上で公開もしている。								8	9						17		
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・コンプライアンスの遵守管理担当部署が、定期的な現場の監査と部門の診断を行い、社内でつねにコンプライアンスが維持されることに努めている。															16		
38 組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・2019年度からSDGs運営推進室を設置し、社内と協力会社へ対する教育を継続している。また進捗管理をすすめながら、より良い取り組みとなるよう関連会社との調整も行っている。															16		
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・コンプライアンスの遵守管理担当部署が、定期的な現場の監査と部門の診断を行い、社内でつねにリスクマネジメントを行っている。															16		
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・SDGsに取り組むことがCSRの取り組みにつながっていくという認識をもって取り組んでいます。																16	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・関連会社、協力会社と定期的なコミュニケーションをもって、情報・価値観の共有化と相互理解を深め、地域、ユーザーにはHPを通して情報発信し理解を図るとともに、お問い合わせ窓口を設け意見の集約にも努めている。														16	17		
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・社内でのインストラから社員全員に一斉に情報発信する仕組みをもって、優先して社員の生命、安全を保持する仕組みはある。 【予定】有事における対応策等の事業継続のための計画を立案していく。										9	11	13	13.1	16			
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・技術者の確保に向けて新規採用、経験者採用を継続していく。 ・雇用継続のためにやりがい、働きやすいにつながる働き方改革の取り組みを強化していく（評価制度、処遇の改善、業務量の適正化と効率化）。									8	9						17	

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組					具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																							
2																							
3																							
4																							

【記載留意事項】

- SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。  
(SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。)
  - 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
- なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度など）